

歩

提案は、まず当面の最重要課題として、中性子爆弾の相互生産中止を要する。そしてこれを通じ、あらゆる核兵器の生産停止を、すべての核保有国、また周辺の国が承認しなければならないとしている。

新たな核兵器開発を阻止する全面禁止条約の条文化や核拡散防止体制の強化、SALT IIや中東兵力削減の軍縮交渉は、多くの成果を残しつつある。そしてこれらの成果の上に立ち、大量殺人兵器、通常兵器も含む軍備増強、生産の停止、そして今日最重要の課題とする四提案は、全面軍縮への明確な一里塚を示したものだといえる。

「同盟諸国の提案」
ソ連の提案
「同盟諸国の提案」
ソ連の提案

「同盟諸国の提案」
ソ連の提案
「同盟諸国の提案」
ソ連の提案

集会各地で成功 クラスから始動

禁煙委員会などからのアピールがなされ、夏の世界大会への大衆的決起を訴えた。

千原市では、柏市平和評議会主催の報告集会が開かれた。集会では、ロランC闘争を中心とした活動報告が評議会事務局からなされ、今後の運動方針提起に続いて、国連報告、集会決議と進められた。決議は、原水禁世界大会を国際平和運動と連帯して成功させること、ロランC基地阻止闘争強化の二つが採択されている。

東理大神楽坂校舎での報告集会には、都下十大学の平和団体、学友が参加した。基調報告、国連報告と続いて、各大学活動報告がなされた。

尚、これらの集会では、世評からの通達、デリーの行方不明者家族のハンガーストライキ闘争に連帯を、デリー人民連帯、核軍縮競争停止のために全面完全ハント支援、チリ軍事政権ヒノ



報告集会は原水禁での任務を明らかにした

公然たる核使用の恫喝

5・30 NATO 首脳会議



国連軍縮総会会場のニューヨークから 300マイルと離れていないワシントンで開かれたNATO首脳会議

「同盟諸国は、主に、核兵器の使用禁止、軍事基地撤去から非核地帯化を強く呼びかけた。アジア、アフリカ等、米国の戦術核兵器使用の危険性が高まる中、これの提案は、緊急かつ切実である。同時に、軍拡競争停止の巨大な影響力として存在している。

「同盟諸国は、主に、核兵器の使用禁止、軍事基地撤去から非核地帯化を強く呼びかけた。アジア、アフリカ等、米国の戦術核兵器使用の危険性が高まる中、これの提案は、緊急かつ切実である。同時に、軍拡競争停止の巨大な影響力として存在している。

非核地帯呼びかけた 国連園田外相演説 政府核政策の手を縛れ

園田外相は、五月三〇日、八令む軍縮交渉の促進を必要であると呼びかけた。

これは世界最大の日本代表団の活発な活動、世界的な軍縮の世論におおされて余儀なくされた発言である。しかし「自衛のための現実」憲法下でも核兵器や細菌兵器を持つ（福田首相）「敵に脅威を与えずして何の防衛力か（金丸防衛

園田外相演説要旨

「日本国憲法は「戦争と武力による威嚇又は武力行使は、国一、適切な条件の整っている地域に非核武装地帯を設置すること」と規定している。広島、長崎の悲劇は、永々にこれを放棄する手段として、二度と繰り返されてはならず、そのために八月六日を軍縮の日とすることは意義がある。一、わが国は、核兵器について、核生制不使用については発言を

帝国主義のザイル介入 デマで利権狙う者

先日、ザイル、シババで、反モツ解放勢力が、在住白人の大量殺りくを行なったという報道が流された。一方、六月五日、NATO五ヶ国バリー協議が開かれ、在住白人の生命保障、キューバ、ソ連の介入などを理由として、NATOアフリカ合同軍創設が決定され、現地には、仏、ベルギー、米国の部隊や兵器が投入されているといわれる。

しかし事態は全く逆であった。白人殺りくは、仏軍、ザイル政府軍によるものであったばかりか、キューバの「介入」にしても、バリー協議前に、それを否定する公式文書が、カストロ首相から、カーター大統領に届けられていたのだ。ザイル紛争は、豊富な銅、ニッケルを支配するわずかの白人に、対する、抑圧された大多数の黒人勢力の民族解放闘争である。帝国主義者は、こうしたデマ宣伝で、軍事介入を解放闘争の圧殺を狙い、反社会主義中傷の口実にするのだ。

北極星

第四通商国 田首相は七月先進 国首脳会議までに 何らかの結論をだし、交渉再開 条約締結の姿勢を表明。ソ連は同日ボヤンスキー駐日大使を通じて反ソ的な日中条約に対し、「対日外交の修正」をほめ、めく強い抗議表明。園田外相はこれに対し、「ソ連も覇権行為と誤解されることは慎み」と開き直ったものの、ホルブルック米國務次官補の「アジア安定は日米同盟が軸」という発言（十六日）など、米、日帝国主義が、中国の反ソ民族主義と結託して反ソ統一戦線を組み、戦後案が切り開かれた平和共存・軍縮民族解放と社会主義の大流に抗しようとする意図は隠しておせない。▼アフリカの英雄ルンバ大統領とコンゴ革命を仏・ベルギーの帝国主義者の毒牙を借りて葬ったモアツ大統領のザイルを支持し、果ては、社会主義経済建設に着手するベトナムで大資本家・華商の反抗を組織する。ブルジョアジーがこどもあろうに中国に亡命することは、まことに歴史の皮肉である。▼世界の歩みは今大きな山を越えている。強気に見える米・中・西・欧帝国主義の策動と中国の悪のりは、それに対するあがきた。国連軍縮総会にまで帝国主義者を引きずりだした社会主義と民族解放の諸勢力は必ずこれを打ちやぶり、中国人民の革命的伝統をも再び復活させるであろう。

ドキュメント—国連軍縮総会 (1)

注目された日本代表団

—ヒロシマ・ナガサキの声世界に轟く—



核兵器禁止署名の提出されている模様

五月二日、五〇二名の代表を務めた佐藤行通、吉岡嘉清両氏のうち、先発隊約二〇〇名が氏からは核使用を人道に反する行為として禁止せよと米ソ共盟二日は「国連に核兵器完全同義長国制の改善」が質問されたが、これへの回答は特別総会を巡る情勢の中に明確に与えられていない。カーターはNATO総評議長、天池同盟会長、行宗、首脳会議で核使用を公然と語った。フィッシャー代表は、この回答もあいまいにした。一方、この日を含めて、五月三〇日まで、代表団は軍縮総会傍聴と核使用禁止、核兵器禁止を訴えるべく、各国代表部訪問を精力的に行ない、多くの国が日本代表団とともに核軍縮をめざして努力を続けることを回答した。だが中国とアルバニアについては、代表団の訪問を拒否することによって軍縮を望まない姿勢を白日の下にさらすこととなった。

五月二日、生存のための動員の主催による集会とデモが全米各地から一万五千人を集めてもたれた。三本のポールであやつられる白い布の鳥、手に高くかかげたポスターは、軍縮をして我々の必要とするところに予算を回せと語っている。「ナウ・デイズ・マメント」とかけ声が国連本部にこだまする。日本代表団も色とりどりのゼッケン、ポスターをもってデモの先頭を歩いた。

五月三〇日、代表団員一人一人が手にたすきで運んだ核兵器禁止署名一七〇万人分が国連関係者に手わたされた。被爆者の中から国連職員に渡される時、回りをとり囲んだ代表団、米人の間から「原爆許すまじ」の歌声が低く、しかし力強くわきおこる。夕陽をあびた被爆者の顔は感激の涙にかすんでいた。署名簿は二〇年間にわたる、国連本部内に大切に保管されることになった。